

令和5年度第1回四街道市みんなで地域づくり推進委員会 次第

日時：令和5年8月23日（水）14時00分～

会場：四街道市保健センター3階 第2会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 会議の公開・非公開

4 議 題

(1) 令和4年度みんなで地域づくり事業提案制度の事業ふりかえりについて

(2) その他

5 閉 会

みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）事業一覧（令和4年度実施）

| | 団体名 (代表者氏名) | 事業名 | 事業概要 | 新規 継続 | | 事業 部門 | | 要望額 | 担当課 |
|---|------------------------|-------------------------------|--|----------|---|----------|----|-------------|-----------------|
| | | | | 新 | 継 | 地 | 19 | | |
| 1 | 総合公園の植生調査の会 (高井 昭夫) | 四街道総合公園の植生リスト改訂版を増刷する事業 | 植生リストにより、総合公園の里山景観が残された自然環境の素晴らしさを市民に啓蒙し、総合公園に自生する希少な植物の保全・保護等に役立てる。 | | ③ | ○ | | 297,000 | 環境政策課 |
| 2 | ひみつのおしゃれ工房 (佐々木 和枝) | ひみつのおしゃれ工房リメイクファブリックスタートアップ事業 | 外で働く事が出来ない事情のある方々に内職をお願いして古着をアップサイクルし、パッチワークなどの生地にしたリメイクファブリックを事業者などに広めていく。 | | ② | ○ | | 400,000 | |
| 3 | 四街道みらい会 (長谷川 晃一) | 四街道市旭ヶ丘子ども食堂開催による未来創造事業 | 旭ヶ丘・みそら地区等に居住する小学生と、その家族を対象として安価に食を提供することによって、子育て支援、食育、地域活性化の場、孤立孤食の減少の改善を目的とする。また、プロの料理人が調理に携わり、飲食店が主催することで食の魅力を感じてもらうことも目的とする。また、持続可能な事業として確立するために食堂運営資金を作る為の農園を始め、補助金や募金に頼らない運営体制の構築を図っていく。 | | ② | ○ | | 400,000 | 産業振興課 子育て支援課 |
| | | | | | | | | 地 1,097,000 | |

【新規・継続】新…新規事業、継…継続事業（○数字は本制度への申請回数） / 【事業部門】地…地域づくり部門、19…アンダー19部門

コメントシート

委員氏名：

| | 団体名 | コメント |
|---|-------------|------|
| 1 | 総合公園の植生調査の会 | |
| 2 | ひみつのおしゃれ工房 | |
| 3 | 四街道みらい会 | |

事業報告書類

総合公園の植生調査の会

コラボ四街道まとめ

| | |
|-----|-------------------------|
| 団体名 | 総合公園の植生調査の会 |
| 事業名 | 四街道総合公園の植生リスト改訂版を増刷する事業 |

| | |
|---------|---------|
| 事業部門 | 地域づくり部門 |
| 担当課・関係課 | 環境政策課 |

| | |
|------|--|
| 事業内容 | 事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・2015年8月に初版で発行した植生リストの第2版を400冊増刷して、10月14日から市民に配布を始めた。 ・四街道市、みんなで地域づくりセンター、千葉県中央博物館、四街道市図書館、日本大学薬学部、東京情報大学等関係する機関に、植生リストを配布した。 ・11月5日に総合公園で、植生リスト増刷を記念した秋のしぜん観察会を開催した。市民の参加者15名に、植生リストを資料にした植物観察を実施した。なお、主催者を四街道市地域振興財団にして、当会との連携事業の形態をとった。 |

| | |
|--------|---|
| 事業内容変更 | 軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載 |
| | 印刷業者へ発注する以前に、植生リスト増補のデータ作りが、予定通りできず手間取ったこと（植物の写真の元データがパソコン上、消失し再作成となった）、及び完成した植生リストの表紙の用紙が、発注したものと異なったため、改めて表紙を差し換えた上での再納入となった。（印刷業者の責任負担）このため、植生リストの配布が予定より遅れ、秋のしぜん観察会にギリギリ間に合う結果になった。 |

| | | | | |
|-------|----|-----------|----|-----------|
| 事業費総額 | 予算 | 330,000 円 | 決算 | 330,000 円 |
| 補助金額 | 予算 | 297,000 円 | 決算 | 297,000 円 |

| | |
|------|--|
| 事業成果 | 事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・総合公園を利用する市民から、改めて植物に恵まれた自然公園であることを知った、との声が多くあり植生リスト増補版発行の成果を感じた。 ・秋のしぜん観察会の参加者数名から、植生リストを手にとって、当会の活動に関心を持ち、活動に参加したいとの要望が出てきた。その中の1名が、11月24日から参加することになった。 |

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 事業の課題、担当 | 事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。 |
|----------|-------------------------------------|

| | |
|---------|--|
| 課との関わり等 | 総合公園の植生調査は今後も継続化するので、将来、再度植生リストの増補の必要があるかどうか課題である。今後、四街道市地域振興財団とも相談して行くことにしたい。 |
|---------|--|

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | <p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合公園で定例の植物観察と調査は継続していく。 ・体育館受付を窓口にして、植生リストの掲示を行い、公園利用者他市民に対する植生リストの配布を行う。 ・来春開催される春のしぜん観察会では、植生リストを観察会資料として配布する予定である。 |
|---------|--|

| | |
|-----------|--|
| 担当課のふりかえり | <p>(環境政策課)</p> <p>総合公園は市内でも有数の自然豊かな公園であり、その状況が植生リスト増補版発行により市民に知られていくこと、更には貴会の活動に参加したいという人まで出てきたということで、目に見える成果が出ており喜ばしく感じている。</p> <p>引き続き、総合公園の自然環境を保全・保護するためにも、本リストの配布や活用を通じた活動を行っていただくようお願いしたい。</p> |
|-----------|--|

| | |
|--------------------|--|
| みんな地域づくり推進委員会のコメント | |
|--------------------|--|

事業報告書類

ひみつのおしゃれ工房

コラボ四街道まとめ

| | |
|------------|--------------------------------|
| 団体名 | ひみつのおしゃれ工房 |
| 事業名 | ひみつのおしゃれ工房 リメイクファブリックスタートアップ事業 |

| | |
|----------------|---------|
| 事業部門 | 地域づくり部門 |
| 担当課・関係課 | |

| | | | | |
|---------------|--|---------|----|-----------|
| 事業内容 | 事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。 ① 工房の仕組みが詳しく分かるホームページにリニューアルします。 ② リメイクファブリックをたくさんの方に知って頂くため、展示会の出展及び展示サンプルの制作をします。 ③ 今後自社製品の販売を本格的に行うための準備期間として、マルシェなどのイベントに参加し、お客様の声を聞く機会をつくります。また、イベント参加に伴い備品の購入をします。 ④ 工房の活動周知のため、SNSなどのウェブ広告に掲載をします。また、集めた古着を仕分けして保管できるように収納ケースの購入をします。 | | | |
| 事業内容変更 | 軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載 備品として購入予定だったテントは地域の方から寄付を頂いたもので、その分の予算を事業に必要であった収納用品に変更しました。 | | | |
| 事業費総額 | 予算 | 464,100 | 決算 | 461,037 円 |
| 補助金額 | 予算 | 400,000 | 決算 | 400,000 円 |

| | | | | |
|-------------|---|--|--|--|
| 事業成果 | 事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載 ① ホームページを問い合わせしやすく、活動内容がわかりやすいようにリニューアルしました。お客様から「見やすい」「わかりやすい」と反響をいただきました。 ② 構想があっても生産につなげることができなかった製品のサンプルを作り、展示会に見本として出品することができました。 ③ 7月、10月に、イベントへ出展してひみつのおしゃれ工房の活動を紹介することができました。そこで出会った方から後日、問い合わせを頂き、内職さん達の新しいお仕事を増やすことができました。 テーブルとおもりを購入してイベントでレイアウトを見やすくしました。 また、サンプル写真撮影用の壁紙とライトを購入し、わかりやすい見 | | | |
|-------------|---|--|--|--|

| | |
|-------------------------------|--|
| | <p>本を SNS に投稿できるようになりました。</p> <p>④ インスタグラムにウェブ広告を載せ、一日目からフォロワーが 20 人程増えて、問い合わせも 2 件ありました。その後も定期的にインスタグラムからの問い合わせを頂きます。内職さんを増やせるような案件もあり、大きな効果を感じています。</p> |
| <p>事業の課題、担当課との関わり等</p> | <p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> <p>① ホームページに活動の写真や製品の見本の写真が少ないので、こまめに写真を撮って更新していく必要があると感じています。</p> <p>② 今回作ったサンプルは色々な方に見て頂き、いくつかのメーカーや作家から商品化のお話を頂くことができました。今後も色々な機会でたくさんの方に見て頂くことで、内職さんに回せるお仕事の種類、量を増やしたいです。</p> <p>③ イベント出展は色々な方に見て頂いて、内職さんにも喜んで頂く機会になっていますが、毎回赤字なので、次年度は赤字にならない方法をみつけていきたいと思います。</p> <p>④ ウェブ広告への掲載が一番費用対効果が高いことがわかったので、広告についてさらに勉強し、今後の販売にしっかりつなげるよう活用していきたいです。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| <p>今後の事業展開</p> | <p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> <p>① 海外からの問い合わせもあるので、ホームページを英語でも見られるようにリニューアルしたいです。</p> <p>また、商品の販売ができる内職さんを見つけて、EC サイトの運営に力を入れられるようにしたいです。</p> <p>② 開発からサンプル制作までがとても時間と労力とお金がかかりますが、これからも内職さんが出来る仕事の工数が多い仕事を受注して、内職さんの人数を増やせるように努力したいです。</p> <p>③ イベント出展には準備の費用と時間が多くかかってしまい、イベント当日だけで費用を回収するのが難しいです。出展の効果のあるイベントの見定めが必要だと感じているので、色々なイベントを検討し、効果的に出展できるように知識を増やしていきたいです。</p> <p>④ ウェブ広告はとても効果があるので、今後も定期的に広告を出し、取引先を増やして、内職さんに安定してお仕事を回せる状況を整える必要があると感じています。「内職をやりたい」、「紹介したい」とお話を頂いていても、こちら側の受け入れるキャパが限られてしまっています。働けず困っている方からのニーズは感じていますので、仕事を振り分ける人材育成と仕事の確保は切迫した課題です。</p> |
|-----------------------|--|

| | |
|--|---|
| | また、仕事を通して繋がれることをテーマにしていましたが、これまで新型コロナウイルス感染症の拡大やご家庭の事情等で、内職さんは工房に集まっての作業が困難でした。しかし、内職さんの中には工房に集まって一緒に作業をしてみたいというニーズもあることがわかったので、今後は挑戦してみたいです。 |
|--|---|

| | |
|-----------|---------------------------|
| 担当課のふりかえり | (課) |
| | |

| | |
|---------------------|--|
| みんなで地域づくり推進委員会のコメント | |
|---------------------|--|

事業報告書類

四街道みらい会

コラボ四街道まとめ

| | |
|------------|------------------------|
| 団体名 | 四街道みらい会 |
| 事業名 | 四街道旭ヶ丘子ども食堂開催による未来創造事業 |

| | |
|----------------|--------------|
| 事業部門 | 地域づくり部門 |
| 担当課・関係課 | 子育て支援課、産業振興課 |

| | | | | |
|---------------|--|-------------|----|-------------|
| 事業内容 | <p>事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。</p> <p>地域コミュニティの創造と、子育て支援、食育、孤食の減少を目的にプロの料理人が監修するお弁当を、旭・山梨・みそら小学校に通う児童とその家族に安価で提供する。</p> <p>開催日は毎月第4日曜日、配布場所はビストロミウラ及びみそら自治会館にて提供する。</p> <p>参加人数は200～350人／回程度で、年間通じての総参加人数は3,169人となった。</p> <p>年間で12回の開催だったので、平均人数は264人となった。</p> | | | |
| 事業内容変更 | <p>軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の対策を考慮していく上で、年間を通して農園での体験型イベントの開催を実現することが出来なかった。</p> | | | |
| 事業費総額 | 予算 | 1,222,560 円 | 決算 | 1,432,202 円 |
| 補助金額 | 予算 | 400,000 円 | 決算 | 400,000 円 |

| | | | |
|-------------|---|--|--|
| 事業成果 | <p>事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載</p> <p>回数を重ねるごとに、地域の人から広く認知され、参加者、ボランティア、募金、協賛とすべてが上向き結果となった。各開催後に利用者からは、感謝やお礼の電話もあり、必要な家庭にもしっかりと届いていることを確認できた。</p> <p>また、今年度より新しい事業として農園の運営を始め、そこで体験型のイベントを開催しようと計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大などを考慮し実施には至らなかった。しかしながら、農園に遊びにきたり、農作業を手伝ってくれる親子や、散歩で通る地域の人の休憩所など、多様な楽しみ方をしてくれる場となった。また、作物に関しても管理上生産量は減らしたものの確実に収穫ができた。さらに作物の販売が出来た事で予算までとはいかなかったが収入源となった。</p> <p>地域の見えない問題を解決すべく、多くの目的を達成するための一つの手</p> | | |
|-------------|---|--|--|

| | |
|------------------------|---|
| | <p>法として、こども食堂や農園という形で活動しているが、地域の活性化、新規コミュニティの創造、孤食や子育て支援、困窮家庭への支援などの一助となったと自覚している。</p> |
| 事業の課題、担当課との関わり等 | <p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> |
| | <p>事業の課題</p> <p>運営は至って順調であり、差し当たって大きな問題点はないが、参加者の増加や、新型コロナウイルス感染症拡大の終息後に対面での開催の方法を検討していかなければならない。現在はお弁当だから人数が多いという意見もあるが、実際に対面で開催した場合、何名の参加者が来るのかわからないのが現状である。</p> <p>担当課との関わり</p> <p>担当課の方からは、国の支援制度などの情報を頂いて申し込んだりした。私たちが知らない支援制度などについて、今後も情報提供を頂ければと考えている。</p> |

| | |
|----------------|---|
| 今後の事業展開 | <p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> |
| | <p>今後も継続してこども食堂と農園の運営をしていく。こども食堂に関しては多くのボランティア参加者と利用者の利便性を考え、旭公民館での開催を検討している。</p> |

| | |
|------------------|---|
| 担当課のふりかえり | <p>(産業振興課)</p> |
| | <p>農園の開設により、新たなコミュニティの場になるとともに、農作業を通して、食育及び農業への理解を深める場となった。</p> |
| | <p>(子育て支援課)</p> <p>関係課と団体の活動について情報共有を図りました。今後、チラシの配架など広報依頼があれば、周知協力をしていきたい。</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| みんなで地域づくり推進委員会のコメント | |
|----------------------------|--|

令和4年度 四街道市みんなで地域づくりセンター 業務報告 (四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告)

四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業

受託団体 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

I. 施設利用状況

| 内容 | 年間 | 内容 | 年間 |
|---------------------|------|---|-----|
| 来所者数 (人) | 2379 | 開館日(通常オープン日) (日) | 220 |
| 1日あたり来所者数(人) | 10 | 休館日に主催事業等を実施した日 | 1 |
| ミーティングスペース 利用団体(団体) | 136 | 開館日数合計 | 221 |
| ミーティングスペース 利用人数 (人) | 832 | ※新型コロナウイルス感染症対策について:年間を通して、開館時間は通常通り。みんなのテーブル(ミーティングスペース)は、密にならないよう注意して利用することとした。 | |
| 新着情報 (件) | 379 | | |
| 相談件数 (件) | 89 | | |

II. コーディネーター業務 実施報告(仕様書の業務内容区分について)

1. 地域課題への取組のプロデュースに関すること

- 市民の意見交換や情報交換の場「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座、相談への対応などから地域課題への取組みにつなげる。
- 地域課題の解決を考え、地域づくりの新たな担い手を育てる。

(1) コラボ推進プロジェクト

地域に出て新しい人や団体に会い、地域の状況や課題の把握と人材の発掘を行い、地域づくりの取り組みが始められるようサポートする。

① 地域ヒアリング

4/13鹿放ヶ丘ふれあいセンター、4/20NPO法人はちみつ(現在は社会福祉法人よつかいどう福祉会)、4/28千代田花壇愛好会、4/28千代田地区社協、6/1移動図書館ドリーム号、6/7市民のためのパレエ、7/20ちよこっとクラブ、7/22ネイバーフッドプレイス(八千代市)、10/11児童デイサービスセンターくれよん、10/23旭ヶ丘みらい食堂

② 「コラボ塾」

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|---------------|---|-----------------|-----------------------|------------|
| 9月8日 1限目 | 公開講座「地域の元気を作りだすコツ」 事例報告(ちよこっとクラブ代表松浦由紀子さん、 NPO法人わか理事長 宮本亜佳音さん) コラボ四街道概要 | 16 (内zoom4人) | 文化センター 203号室 | |
| 9月22日 2限目 | 四街道市の地域課題を出しあおう | 2 | みんな で 地域づくりセンター | |
| 10月6日 3限目 | 「アイデアのたね」を掘り起こし、事業を企画しよう! | 7 | みんな で 地域づくりセンター | |
| 10月20日 4限目 | 企画提案書の作成・プレゼンをしてみよう | 3 | みんな で 地域づくりセンター | |
| 1月26日 5限目 | 本番直前プレ・プレゼン (ちよこっとクラブ、四街道学生服リユース、ピー チクパーチク、笑うベスマホ庵) | 5 | みんな で 地域づくりセンター | スタッフ7人、市2人 |
| 2月13日 本番 | コラボ四街道 公開プレゼンテーション(3団体) ※みんなで地域づくりセンタースタッフ 8人参加(うち2人運営補助を行った) | | | |

【成果と課題】

- ・コラボ四街道申請・採択団体は、ちよこっとクラブ、四街道学生服リユース、笑うベスマホ庵の3団体。
- ・コロナの影響により、市内の市民活動団体の活動力の低下もあり、コラボ塾への参加が低調。コラボ四街道の採択が団体の活動資金の調達につながることを明確にした広報をするなど工夫した。
- ・今後のコラボ四街道への申請や地域づくり事業への理解につなげるため、プレ・プレゼンと公開プレゼンへの参加・傍聴を呼び掛けた。参加は得られなかったが、みんなで地域づくりセンターへの相談で次年度コラボ四街道に申請したいという声が2団体から聞かれた。

③ コラボ四街道 実施事業支援 ※担当を決め、市担当課に協力してサポート

総合公園の植生調査の会、ひみつのおしゃれ工房、四街道みらい会

(2) 自治会情報交換会(第22回)

地域の高齢化の中での困りごとや自治会の運営について話し合う場をつくる。

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|-------|--|-----------------|--------|----|
| 6月30日 | 自治会情報交換会 ～コロナ禍における自治会活動の現状と課題解決のために 事例報告:生活支援コーディネーター梅山美枝さん 情報交換 | 25 (内zoom1人) | 文化センター | |

【成果と課題】

- ・コロナ禍で自治会運営に苦労している。高齢化による自治会運営の担い手不足の課題がある。
- ・みんなで地域づくりセンターでは、自治会と自治会、自治会と関係諸機関・団体との繋がりを作る役割を担うべき。

(3) 高齢者支援

認知症になっても安心な地域づくりを進めるため、市民が介護や認知症の知識を深め、介護事業所の人がつながりをつくるための学習会や講演会を開く。

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|-------|---|---------|-----------------|----|
| 9月20日 | 講演会「認知症になってもともに暮らせるまちづくり」 講師:東京情報大学看護学部助教 大山一志さん | 15 | 文化センター 201号室 | |

【成果と課題】

- ・四街道市内で認知症カフェを開催している事業所との連携がスムーズにできるようになった。
- ・市内の認知症カフェなどの活動は現在6か所。(月1回または2か月に1回開催)必要としている人が歩いて通うことができるよう、今後、地域包括支援センターと連携していきたい。

(協力)

地域支えあい推進会議 一層(委員)

地域支えあい推進会議 二層四街道北中学校地区(委員)

(4) アートを活かしたまちづくり

まちの中にある身近なアートに注目することで、地域に愛着が湧くまちづくりを進める。

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|-------|---|---------|-------------------|----|
| 6月24日 | アートを活かしたまちづくり～みんなでアート四街道2022 ①みんなでアート交流会 | 11 | みんなで 地域づくりセンター | |
| 7月27日 | ②ワークショップ「アートでお祭りを彩ろう☆」 | 16 | 文化センター 展示ホール | |

【成果と課題】

- ・子どもが参加でき、ふるさとまつりに飾られたことで、喜びの声をたくさんいただいた。
- ・ワークショップの参加者が、地域への関心を持つきっかけとなった。

2. 地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○市民、団体、事業者や、またその地域づくりの活動が、分野や業種を超えてつながり、行政、関係機関とも連携・協働して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画をコーディネートする。

(1) 子ども支援ネットワーク

子どもを取り巻く環境の課題に対して、子ども支援団体のネットワークをさらに進め、行政や関係機関とも連携して支援ができることを目指す。

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|--------|---|---------|---------------------|----|
| 7月13日 | <子ども見守りサポーター養成講座> みんなで子育て講演会「学校に行きたくないと言われたら」 NPO法人こころね理事長 白尾藍さん | 27 | 文化センター 和室 | |
| 9月15日 | 座談会「不登校の親の会の運営って、大変？」 | 8 | みんなで 地域づくりセンター | |
| 10月31日 | 地域の居場所「おひさま文庫」(東金市)見学 視察先:おひさま文庫(NPO法人3.11こども文庫)東金市 | 13 | 東金市 おひさま文庫 | |
| 12月8日 | 子ども支援交流会・円卓会議「不登校支援に関する意見交換」 「不登校支援の現状」教育委員会指導課教育サポート室 千葉芳子さん 「なぜ親の支援が必要か」「お母さんの家庭教師」中川美奈さん | 22 | 文化センター 201・202号室 | |

【成果と課題】

- ・年間を通して不登校支援をテーマとし、円卓会議では立場の違い参加者が情報交換することができた。会議後、不登校親の会2団体の協力関係をつくり、みんなで地域づくりセンターが行うべきサポートの内容を整理した。
- ・状況の変化から、一定の役割を果たした子どもサポートプロジェクトを解散(LINEグループは14人)。ホームページや子どもの居場所マップは継続し(更新し200部発行)、新たなネットワークづくりを始めた。RakuまるへのFacebook・インスタグラムのサポートを行った。

(2) 四街道みんなで災害支援ネットワーク

災害時のみんなで地域づくりセンターの役割を考え、四街道みんなで災害支援ネットワークづくりを進め、平常時から困ったときに声を掛け合えることを目指す。

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|--------|--|---------|---------------------|------------------|
| 5月31日 | 四街道みんなで災害支援ネットワーク 防災かるた | 3 | みんなで地域づくりセンター | |
| 10月19日 | 学習会「支援を活かす地域力ワークショップ」 講師:(一社)ピースポート災害支援センター 「四街道市における地域防災の現状」澤島博危機管理官 | 31 | 文化センター 201・202号室 | |
| 2月24日 | 四街道みんなで災害支援ネットワークの会 交流会 災害に関する動画視聴、自己紹介、スマホ豆知識、アンケート「もしもの時に支援できること」を記入、フリートーク | 19 | さくらそう | スタッフ7人、 市役所1人 |

【成果と課題】

- ・四街道みんなで災害支援ネットワーク56団体65人、LINEオープンチャット(登録45人)で情報交換、平時の関係づくりの構築を図った。また、会員向けメールグループ、Facebookで情報発信を行った。
- ・5/31防災カルタは、参加した2団体から地域や団体からオリジナルのかるたを作ってみようなどの反響があった。
- ・10/19 学習会は、災害支援の現場の状況に基づいた情報が得られ、自治会、市民活動団体、防災士などが参加してテーマに沿って話し合いを重ねることができた。
- ・2/24 交流会は、NPO(障害者支援、国際交流、ペット飼育、食、子ども)、民生委員、社協、防災士、地元企業等が参加した。
- ・今後は災害時を想定したみんなで地域づくりセンターの役割の確認やシミュレーションなどが課題となる。

※関連のワークショップ・学習会等への災害支援ネットワークからの参加

- 7月7日 市危機管理室主催ワークショップに参加を呼びかけ 4人参加
- 7月11日 災害支援ネットワークに市赤十字奉仕団一日赤十字参加 7人参加
- 2月26日 社協講演会「災害ボランティアセンターの役割」 4人参加
- 3月8日 災害支援ネットワークちば(CVOAD)主催 「災害時の『炊き出し活動』勉強会」 7人参加

地域の多様な主体が参加しつながりや連携を進めることを目的にコーディネートしている事業

(3) 福祉施設紹介・販売フェア 第20回大きなテーブル

「大きなテーブル」は活動の紹介・販売のみでなく、市民と交流し、団体同士のつながりをつくることを目指す。

- 日時 5月21日(土) 飲食なし コロナ対策をして開催
- 会場 文化センター前広場(屋外・テント使用)
- 主催 大きなテーブル実行委員会 共催(公財)四街道市地域振興財団
- 後援 四街道市(障害者支援課、政策推進課)
- 事務局 みんなで地域づくりセンター内
- 出展団体 出展16団体(福祉10、協賛6)
- 内容 福祉施設の活動の紹介と商品の販売、地域との交流
- 来場者数 約800人 売上総計564,430円

【成果と課題】

今年度から福祉団体を中心とする実行委員会主催とし、より自主的な運営を一步進め団体同士の連携が深まった。

(4) ちばユニバーサル農業フェスタ2022in四街道

ちばユニバーサル農業フェスタは、地域の連携を進める事業としてコーディネートする。

- 日時 11月26日(土) 飲食なし コロナ対策
- 会場 文化センター前広場(屋外・テント使用)及び展示ホール(屋内)
- 内容 地元産の農産物・加工品、福祉施設商品等の販売、
四街道市の新規就農相談受付(産業振興課)、農福連携の紹介、フードドライブBOX設置
- 主催 ちばユニバーサル農業フェスタ2022in四街道実行委員会(事務局 NPO法人地域創造ネットワークちば)
- 協力 四街道市地域振興財団 NPO法人千葉県障害者就労事業振興センター
- 後援 四街道市(産業振興課)、市教育委員会、市社会福祉協議会、千葉県
- 出展団体 26団体(24ブース)
- 来場者数 約1300人 売上総計874,000円

【成果と課題】

- ・ユニバーサル農業をテーマに出展団体と来場者、団体同士の交流やつながりができた。

「新規就農相談」「農福連携の紹介」も実施できたので、今後これらの点も進めていきたい。

3.地域づくり情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

(1)情報誌「みんなで」年4回発行し、より多くの市民に地域づくりの情報を届ける工夫する。

主な配布場所：市役所・関係機関・公共施設・駅・協力いただいている店舗、自治会回覧、市民活動団体等

| 配布月 | タイトル | 配布部数 | 取材団体等 |
|-----|-------------------|-------|---|
| 6月 | Vol.32 里山のある風景 | 4500部 | あさひくぬぎの里 森林ボランティア四街道フォレスト |
| 9月 | Vol.33 図書館に行こう | 5000部 | ※蔵の図書館 市移動図書館 四和小図書館ボランティア等 |
| 12月 | Vol.34 地産地消のある暮らし | 4500部 | 朝市(おがわ農園) ※よつカフェ(よつグルメ) ※食を通して四街道を元気にする会 |
| 3月 | Vol.35 地域で学びを支える | 5000部 | 取材：拡大写本、 ※四街道・科学未来からくり倶楽部 |

次年度の企画・編集

| 配布月 | タイトル | 配布部数 | 取材団体等 |
|-----|----------------------------------|-------|--|
| 7月 | Vol.36 自分たちで進める地域づくり 7月1日発行予定 | 5000部 | 取材：令和5年度コラボ四街道採択団体 ※ちよこっとクラブ ※笑うベスマホ庵 ※よつかいどう学生服リユース |

(2)ホームページ及びSNS等への掲載について

①ホームページ スタッフが更新を行いよりタイムリーな発信を目指し、リニューアル準備中です。 ブログ掲載 10件/年

②Facebook いいね(昨年804)868、フォロー1025、年間投稿数125件 インスタグラム フォロワー147

③メール 四街道みんなで災害支援ネットワーク、子ども支援ネットワーク等でリスト作成し活用し発信した。

④団体基本情報 83団体

⑤みんなでカレンダープロジェクト テーマ：マイブーム

⑥そごう千葉店通路展示「みんなで地域づくり」12月6日～12日

みんなで地域づくりセンターの取り組みと四街道市のPR 写真・ポスター約50点展示

・情報誌「みんなで」、子ども支援ネットワーク、アート、捨てない暮らし、ユニバーサル農業フェスタ、まちの記憶(市)

4.地域づくりを担う主体からの相談に関すること

○相談は常時受け、来館、電話、メールで受付。・市役所の各担当課および関係機関と連携して相談対応にあたる。

○市の施策・制度や地域課題などについて学び、相談対応力を高める。また、団体運営に関する相談に対応できるようにするため、コーディネーター等が研修会などで学ぶ機会を持つ。

| 分類 | 件数(件) | 相談例 |
|----------------|-------|---|
| 地域の情報問合せ | 25 | まち歩きのご案内をしてくれる人を紹介してほしい/不登校親の会を探している/精神疾患を持つ人の居場所を探している/農作業をする時の竹籠を制作している人をお願いしたい |
| 地域の課題・活性化 | 22 | 学童での災害時の対応をどうしたらよいか/みんなの食堂をつくりたい/次年度のコラボ四街道に応募するために、いつからどんな準備をすればよいか/近隣の子育て支援センターが閉所となったので、近くで子育てサロンを開きたい/企業の地域貢献として協力できることはないか |
| 市民活動団体の運営 | 9 | 団体が行う公演を盛り上げるため、マルシェを開催したい/記念誌を作成したいので、冊子づくりや印刷について知りたい/スマートフォンのサークルのスキルアップのため指導者が欲しい |
| IT・パソコン | 4 | Facebook、Excel、スマートフォン、SNSについて教えてほしい |
| 市政に関すること | 3 | (行政担当課から)講習会立案についてみんなで地域づくりセンターの協力をお願いしたい市のホームページを見て、市の事業のお話を伺いたい |
| 活動への参加 | 4 | 子ども食堂のボランティアをしたい/傾聴ボランティアをしている団体はないか |
| 法人の立上げ・所轄庁への報告 | 2 | NPO法人設立の申請書作成について(事業の整理) |
| 自治会の運営 | 2 | 自治会館で行っている地域サロンで防災カルタなどを体験したい |
| その他 | 18 | スキルを活かして講師をしたい/居場所を閉鎖するので道具の寄贈について手伝ってほしい/団体に生産したものをを使った製品づくりについて |

●相談対応件数 延べ 89 件 (相談者：市民57、事業者16、行政・関係機関16)

5.上記業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○市民活動団体の運営力を高める講座、市民活動スキルアップ・ワンポイント講座など、地域づくりに関する情報提供や学びあいの場をつくる。

○身近なテーマで参加者同士が交流したり、ワークをしたり、学びあったりする場をつくる。

○「みんなで×(かける)〇〇する」を開き、みんなで地域づくりセンターに来たことがない人の来館や地域づくりを知る機会とする。

○地域づくりに関する講座、見学会などを企画実施する。

(1) 市民活動マネジメント講座

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|-------|--|---------|---------------|----------|
| 6月7日 | 市民活動マネジメント講座 第1回 ・テキスト ソシオ・マネジメントVOL.1改訂・増補版IIHOE発行 少人数でテキストを読み合わせて意見交換を行った。 | 2 | みんなで地域づくりセンター | スタッフ3人受講 |
| 7月5日 | 市民活動マネジメント講座 第2回 | 2 | " | スタッフ3人受講 |
| 9月6日 | 市民活動マネジメント講座 第3回 | 3 | " | スタッフ2人受講 |
| 10月4日 | 市民活動マネジメント講座 第4回 | 2 | " | スタッフ2人受講 |
| 11月1日 | 市民活動マネジメント講座 第5回 | 2 | " | スタッフ3人受講 |
| 12月6日 | 市民活動マネジメント講座 第6回 | 3 | " | スタッフ4人受講 |
| 1月10日 | 市民活動マネジメント講座 第7回 | 0 | " | スタッフ4人受講 |
| 2月7日 | 市民活動マネジメント講座 第8回 | 1 | " | スタッフ4人受講 |

【成果と課題】

・新人スタッフの研修も兼ねて実施し、市民活動団体の運営の基本的な事項について学ぶことができた。

(2) みんなで×捨てない暮らし(「みんなで×〇〇する」は、身近なテーマで参加者が交流し学び合う機会をつくる企画。)

「みんなで×捨てない暮らし」は、着物のリメイクを伝えたいという相談から立ち上がった企画。

| 日時 | 内容 | 参加人数(人) | 場所 | 備考 |
|--------|---|---------|---------------|-------------------|
| 6月21日 | みんなで×捨てない暮らし SDGsについて考えてみませんか ①着物で受け継ぐ先人のこころ (着物リメイク講座) 講師: TOYOKOさん(布遊び) | 12 | みんなで地域づくりセンター | ※応募約80人 ※後日講座化 |
| 10月12日 | ②生ゴミたい肥をみんなでつくろう 講師: NPO法人ビオスの会(千葉市) 主催: 廃棄物対策課、協力: みんなで地域づくりセンター | 20 | 文化センター203号室 | |
| 2月7日 | ③生ゴミたい肥をみんなでつくろう 講師: NPO法人ビオスの会(千葉市) 主催: 廃棄物対策課、協力: みんなで地域づくりセンター | 21 | 文化センター203号室 | |

【成果と課題】

講座後自主グループとして活動を続けている。11月に愛国学園大学学園祭で発表会を実施した。

※1. 地域課題への取り組みのプロデュースに関すること(コラボ塾・自治会情報交換会・認知症講演会・アート) 2. ネットワークに関すること(子ども支援・災害支援)でも、講座・講習会を実施しています。以下は、それらを合計した数字です。

●講座・企画事業 合計(25回) 一般参加者(延べ) 255 人

6. その他上記遂行のために必要な事項に関すること

(1) 大学との連携

視察・職場体験、インターンシップなどの受入れを行い、地域の学校との連携を図る

- ①愛国学園大学「大学生も地域とつながろう！プロジェクト」協力について (コーディネーター)
 - ・前期4月28日～1月26日(全9回) (大学生5人、大学教員2人)
 - ・コラボ塾参加、「大きなテーブル」「ユニバーサル農業フェスタ」見学、子ども支援交流会・円卓会議参加
 - ・1月26日 学生による発表会
- ②淑徳大学「みんなで地域づくりプロジェクト」協力について
 - ・7月22日(金)13:00～ ゼミ生11人、大学教員2人
 - ・9月から市内活動団体への参加および取材、「ユニバーサル農業フェスタ」で掲示発表 8人
 - ・2023年1～2月 インターン生受け入れ(政策推進課 みんなで地域づくり係)
 - ・2月13日「コラボ四街道公開プレゼンテーション」で会場設営やタイムキーパー等を担当。

(2) 関係機関等との連携・協力

①公益財団法人ちばのWA地域づくり基金よりヒアリング

- ・6月21日 出席: ちばのWA 2人、みんなで地域づくりセンター 3人
- ・みんなで地域づくりセンターの活動について

②くらしサポートセンター「みらい」との交流会(情報交換会)

- ・3月22日 出席: みらい 3人、みんなで地域づくりセンター 7人
- ・生活困窮者の相談支援をするうえで、地域とのつながりが必要であり、地域で居場所があったり見守ってくれる人がいる四街道市を一緒につくるために、互いに協力していくことについて確認した。

③市民大学講座 講師

- ・「市民のまちづくり」 講義を担当するのコーディネーター2人を含むスタッフ5人で担当
- ・2月25日 閉校式後、講義30分、ワーク20分、発表10分。受講生44人+運営委員
- ・講座終了後、みんなで地域づくりセンター見学のため来館 15人
- ・講義内容: みんなで地域づくりセンターの利用状況、令和4年・5年度センター事業
- ・団体へのサポートの事例等
- ・短い時間だったため、センターの役割や地域づくりについて十分理解していただくことは難しかったが、市民大学運営委員から「地域づくり」「まちづくり」のフレーズを意識してもらえただけでも有益だったとの言葉があった。今後も、機会があれば伝える場を持ちたい。(情報誌や主催講座のチラシなどは、都度配布していただく)

令和4年度四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告（写真編）

＜コラボ推進プロジェクト＞

コラボ塾「地域の元気を作りだすコツ」（1限目～5限目）



地域ヒアリング



自治会情報交換会 ～コロナ禍における自治会活動の現状と課題解決のために



講演会「認知症になってもともに暮らせるまちづくり」



みんなで子育て講演会
「学校に行きたくないと言われたら」



座談会
「不登校の親の会の運営って、大変？」



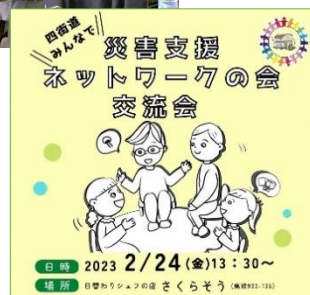
子ども支援団体交流会・円卓会議
「不登校支援に関する意見交換」



地域の居場所「おひさま文庫」（東金市）見学



＜災害支援＞学習会
「支援を活かす地域力ワークショップ」



市民活動マネジメント講座



アートを活かしたまちづくり

- ① みんなでアート交流会 ②ワークショップ
「アートでお祭りを彩ろう☆」



みんなで×捨てない暮らし

- ①着物リメイク講座 ②生ゴミたい肥をみんなでつくろう



地域の「やってみよう」を応援する情報誌「みんなで」



そごう千葉店地下通路写真展
「みんなで地域づくり」



ちばユニバーサル農業フェスタ 2022in 四街道



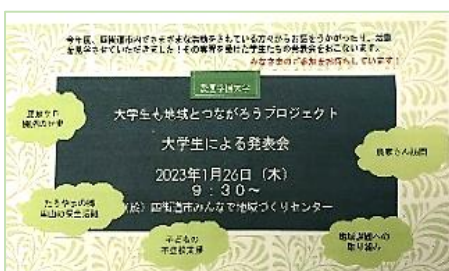
福祉施設紹介・販売フェア「大きなテーブル」



市民大学講座



大学との連携・協力



関係機関や団体との情報交換・交流



令和 5 年度 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業計画

四街道市みんなで地域づくりセンター
 受託団体 特定非営利活動法人ちば市民活動
 ・市民事業サポートクラブ
 代表理事 牧野 昌子
 業務責任者 勝又恵里子

1.地域課題への取組のプロデュースに関すること

○市民の意見交換や情報交換の場「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座、相談への対応などから、地域課題への取組みにつなげます。

○令和 5 年度は特に、センターとしての課題である「新しい人、団体との出会いが減少している」ことを解決するため、また既存の団体のコロナ禍での活動停滞を解消し、ステップアップするための支援をします。

(1) みんなで地域づくりセミナー

- ①登録団体アンケート ニーズ調査 4月 (83 団体)
- ②団体交流会開催 6月 活動事例報告と交流会
- ③市民活動ボランティア体験 9月以降(団体の活動日に合わせて)
- ④キックオフイベント 9月 16日
 ファンドレイジング講座「共感を得て活動資金を募る」
 講師 徳永洋子さん (ファンドレイジング・ラボ代表)
- ⑤コラボ四街道に向けた制度説明会・個別相談会を開く 9月、10月 (2回)
- ⑥コラボ四街道 11月 2日 〆切
- ⑦組織を育てる勉強会 11月～1月 (3回)
 ニーズを確かめるチカラをつける、計画するチカラをつける、協力を募るチカラをつける
- ⑧コラボ四街道プレプレゼン 1月下旬
- ⑨コラボ四街道公開審査会 プレゼン 2月

(2) 自治会情報交換会

地域の高齢化の中での困りごとや自治会の運営について話し合う場をつくります。地域の中の困りごとはもはや自治会だけの解決は難しく、いろいろな主体の協働が有効であると考えられます。事例をもとに解決策を探ります。

開催日：自治会情報交換会 7月 (事例報告 美しが丘スマホ塾)

- (3) 四街道市地域支え合い推進会議に参画し、地域包括支援センターをはじめ関係機関と協力します。
- (4) 市内在住外国人との交流や災害時の支援などについて、支援団体や関係機関と連携して進めます。
- (5) アートを活かしたまちづくりを進めます。(アートをとおして地域とつながる機会をつくります)
 開催日：みんなでアート四街道 2023 ワークショップ「ふるさとまつりをみんなで彩ろう」(7月 2回)

2.地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○市民、団体、事業者や、またその地域づくりの活動が、分野や業種を超えてつながり、行政、関係機関とも連携・協働して、地域の課題解決ができるようコーディネートします。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

(1) 子ども支援ネットワーク

子どもを取り巻く環境の課題に対して、子ども支援のネットワークをさらに進め、行政や関係機関とも連携して支援ができることを目指します。

- ①子ども支援団体視察 TSUGAno わこども食堂（千葉市若葉区）
- ②子ども支援交流会 地域×こども～何ができる？何がしたい？～ 4月20日
- ③子どもの居場所づくり TSUGAno わの実践から（TSUGAno わ代表 田中照美さん講演）7月5日
・不登校支援の継続、子ども居場所マップリニューアル、子ども支援ネットワークHP活用

(2) 四街道みんなで災害支援ネットワーク

災害時のセンターの役割を考え、四街道みんなで災害支援ネットワークづくりを進め、平常時から困ったときに声を掛け合えることを目指します。

- ①四街道みんなで災害支援ネットワークと市内各機関との連携
災害ボランティアセンター、防災士連絡会との相互理解を深め、立場・役割・目標を再確認するための意見交換会の開催 5月～6月
- ②災害支援リストの見直し 交流会で作成したリストについて、ヒアリングによりさらに具体的な内容を加え、災害時に実践的に使えるリストとして仕上げる 随時
- ③メーリングリスト、Facebook、LINE チャットを使った情報発信

(3) 「大きなテーブル」は福祉施設の紹介・販売のみでなく、他団体、他事業者、市民とのつながりをつくることを目指してコーディネートします。（春は6月と、秋はユニバーサル農業フェスタで開催）
開催日：第22回福祉施設・紹介販売フェア「大きなテーブル」6月17日（実行委員会主催）

(4) ちばユニバーサル農業フェスタを地域の連携を進める事業としてコーディネートします
開催日：ちばユニバーサル農業フェスタ2023in四街道 9月18日（実行委員会主催）

3.地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

(1) 情報誌「みんなで」を年3回発行し、より多くの市民に地域づくりの情報を届ける工夫をします。
5000部発行予定（自治会回覧を含む。新たに市民大学受講者85人に配布）

| | テーマ | 内容 |
|--------|---------------|---|
| 7月36号 | 新しい市民活動を始めること | コラボ四街道令和5年度事業で何を狙っているか。新しい市民活動を始めること、コラボ四街道の申請を案内 |
| 11月37号 | 歴史ある団体の紹介 | 活動を長く続けている団体の活動に着目 |
| 3月38号 | 災害支援ネットワーク | 災害支援ネットワークおよびメンバー団体の活動 |

(2) ホームページ及びSNS等への掲載について

- ①ホームページリニューアルにより更新作業をスタッフが先行し、よりタイムリーな発信を目指します。
ブログ、メール、Facebookに、インスタグラムも加え、紙媒体と合わせて、対象により効果的な方法を選択して発信をします。
- ②ホームページのトップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を掲載します。
- ③団体基本情報をホームページで公開し、市民の関心と理解を深め活動への参加につなげます。
- ④センターに来た人が、地域づくりに役立つ情報が得られるよう展示内容や方法を工夫します。
- ⑤オンラインによる新しい情報発信やコミュニケーションの方法の活用を進めます。

講座やミーティングでのオンラインの活用および、オンライン講座(ZOOM基礎) 4月～5月

4.地域づくりを担う主体からの相談に関すること

○相談は常時受付、気軽に相談を受けられる工夫をします。会計相談は日程調整をして対応します。

○市役所の各担当課および関係機関と連携して相談対応にあたります。

○市の施策・制度や地域課題などについて学び、相談対応力を高めます。また、団体運営に関する相談に対応できるようにするため、コーディネーター等が研修会などで学ぶ機会を持ちます。

5.地域づくりコーディネート業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

- (1) 「みんなで地域づくりセミナー」(前述 →1.)
ファンレイジング講座「思いを伝え、共感と資金を集めよう(仮)」
コラボ四街道に向けた制度説明会・個別相談会
組織を育てる勉強会
- (2) 市民活動スキルアップ講座
- (3) 「みんなで×〇〇する」など、身近なテーマで参加者が交流し学び合う機会をつくります。

6.その他上記遂行のために必要な事項に関すること

- (1) 視察・職場体験、インターンシップなどの受入れを行い、地域の学校との連携を図ります。
愛国学園大学、淑徳大学 インターンシップ等
- (2) 「気軽に来られる、来てよかったセンター」を目指して、センターの運営を工夫します。
- (3) 市民大学講座の受講者へ情報誌「みんなで」および主催講座チラシ等の配布を行い、地域づくりやセンターの役割について伝える機会をつくります。

令和5年度 みんなで地域づくりセンター業務スケジュール ★市政だより掲載

| | 地域課題への取組みのプロデュース | | | | 地域づくりを担う主体のネットワーク | | | 情報の収集、把握、発信 | | | | | 相談 対応 | 講習 会 | その 他 |
|-----|-----------------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------|------------------------|---|-------------------|-------------------------------------|------------------|----------------------------|--------------------------|----------|-----------|-------------------|
| | みんな で地域 づくり セミナー | 自治会 情報 交換会 | 支え合 い (高齢 者支 援) | アートを 活かした まちづ くり | 子ども 支援 ネット ワーク | 災害支 援 ネット ワーク | ○大き なテ ーブル ◇ユニ バー サル 農業 フェ スタ | 情報誌 「みん なで」 | 情報 配布 ／ セン ター 掲 示 | 団 体 情 報 | HP/ プロ グ、 FB 等 | みん なで カレ ン ダ | | | |
| 4月 | 登録団体向けアンケート | | | | 4/7ちばのWA視察4/20子ども支援交流会 | | ○4/12実行委 | | | | HP/ユニバーサル | | | ZOOM使い方講座 | |
| 5月 | ★5/15号 | | | | | 5/16ボラセンとの意見交換会 | ○5/16実行委・団体交流会 | | (市民大学配布○) | 団体情報更新 | | | | | 5/11八街市 |
| 6月 | 6/6団体交流会(活動事例報告と交流) 6/30市民活動体験説明会 | 6/3自治会情報交換会(悪天候で中止) | 6/30支え合い推進会議 | ★6/1号 | ★6/15号 | 6/4防災士会との意見交換 | ★6/1号 ◇実行委 ○6/17大きなテーブル | | ○ | | | ↓ | | | 6/22(編集)富里市 |
| 7月 | 9月～市民活動ボランティア体験 | 7/7自治会情報交換会 | | ワークショップ(7/8、26) | 7/5子どもの居場所講演会 | | ◇7/19実行委 | 36号発行 | 一斉配布 ○ | | ↓ | | | | 7/12富里市 7/28淑徳 |
| 8月 | | | | (ふるさとまつりで飾る) | | | ◇8/30実行委・団体交流会 | | ○ | | | | | | |
| 9月 | 9/16キックオフファンレイジング講座 | | | | | 災害支援リスト加筆 | ★9/1号 ◇9/18ユニバーサル農業フェスタ | | ○ | | | | ↓ | | |
| 10月 | ※コラボ四街道制度説明・個別相談会(9～10月) | | | | | | ◇10/11実行委 | | ○ | | | | ↓ | | |
| 11月 | (11/2コラボ四街道×切) 組織を育てる勉強会 | | | | | | | 37号発行 | 一斉配布 ○ | | | | | | |
| 12月 | | | | | 次年度に向けた座談会 | | | | ○ | | | | | | |
| 1月 | コラボ四街道プレゼン | | (支え合い推進会議) | | | | ○1/23大きなテーブル実行委 | | ○ | | | | ↓ | | |
| 2月 | (コラボ四街道審査) | | | | | | | | ○ | | | | ↓ | | |
| 3月 | | | | | | | | 38号発行 | 一斉配布 | | | | | | |

(案)

コラボ四街道ガイドブック 2024

四街道市

みんなで地域づくり事業提案制度募集要項

募集期間

2023.10.2|月|-11.2|木|

意見交換等期間

2023.11.6|月|-11.24|金|

最終提出期限

2023.12.1|金|

公開プレゼンテーション

2024.2 月中旬頃[予定]

^^^-----

1 みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）とは

みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）は、NPO 法人、ボランティア団体、自治会などの自主的に地域づくり活動を行う市民団体が、より良い地域づくりをめざして、地域にある課題の解決につながる事業を提案し、主体的に、または市と協力して事業を実施する制度です。

市民団体及び市は人材、技術、場所、資金等の社会資源を持ち寄ることで事業の実現性を高め、魅力ある地域づくりを実践していきます。

^^^-----

2 提案できる団体は

提案できる市民団体は、次の①～③のすべての要件に該当する団体とします。

- ①四街道市内を主な活動範囲としていること
- ②運営及び会計処理が適正に行われていること
- ③3人以上で組織されていること

*NPO、事業者等も対象になります。

^^^-----

3 対象となる事業は

みんなで地域づくり事業の対象となる事業は、次の①から③のすべての要件に該当する事業で、かつ④から⑦までのいずれかに該当するものとします。

- ①地域づくり、地域課題等の解決につながるもの
- ②市民ニーズに柔軟に対応し、具体的な成果が期待できるもの
- ③事業計画及び予算の積算が適正であるもの
- ④市民の地域への参画が促進されるもの
- ⑤市と協力して実施することにより、市及び市民団体双方の事業の推進に相乗効果が期待できるもの
- ⑥市民団体の基盤強化や人材育成につながるもの
- ⑦事業の目的意識や役割分担が明確で地域づくりにつながるもの

ただし、次のいずれかに該当する事業は対象外とします。

- ①現在本制度の事業として実施されている事業で3年を超えるもの
- ②営利のみを目的としたもの
- ③特定の個人や市民団体のみが利益を受けるもの
- ④調査研究のみを目的としたもの
- ⑤交流または親睦のみを目的としたもの
- ⑥宗教活動または政治活動を目的としたもの
- ⑦特定の公職の候補者もしくは公職にある者または政党に関係するもの
- ⑧暴力団または暴力団員と関係するもの
- ⑨公序良俗に反するもの
- ⑩国、県及びそれらの外郭団体等から助成を受けているもの
- ⑪既存制度で対応できるもの
- ⑫その他市長が適当でないと認めるもの

^^^-----
4 事業部門について

事業実施にあたって、市民団体が提案できる部門は、以下のとおりとなります。

①地域づくり部門

地域づくりにつながる取組や催し物を行う事業部門です。

[具体例]

- ・ 環境美化・里山保全（公共施設の環境美化活動、ほたる観察会）
- ・ 賑わい（グルメフェスティバル開催、フリーマーケット開催）
- ・ 健康（健康ウォーキングマップ作成、健康づくり体操教室開催）
- ・ 居場所づくり（公民館での寺子屋活動、子育てママのためのプチ起業講座）

*地域づくりや地域課題の解決を図るための活動の初期団体に活動基盤を整えたい団体、既に一定の活動実績があり、活動を拡充させたい団体、地域社会貢献活動（CSR）を行う事業者など幅広い団体が応募できます。

②アンダー19 部門

事業実施年度において市内在住または在学の満19歳未満を主体とした市民団体が行う事業部門です。

ただし、20歳以上の方を代表者としてください。

本部門は、若い世代が積極的に地域に関わることを進めるものですが、19歳以上の方の参加を妨げるものではありませんので、積極的に活動に関わってください。

[具体例]

- ・ 高校生によるチャリティバザーの開催
- ・ 小学生による地域情報の発信を行うためのこども通信の発行
- ・ 高校生による地域の子どもたちの学習サポートを行う寺子屋の開催
- ・ 中学生による高齢者とおしゃべりサロンの開催

5 補助金の額

事業実施に直接要する経費について、次に示す補助率による補助額を上限として予算の範囲内で補助金を交付します。補助率とは、対象経費（6 対象経費 参照）のうち何%まで補助金の交付が可能かを示したものです。

上限額の範囲内で補助金を申請してください。

*補助金の額は千円未満を切り捨てた額となります。

例 1) 地域づくり部門：申請 1 年度目・対象経費 580,000 円の場合
 $580,000 \text{ 円 (対象経費)} \times 90\% \text{ (補助率)} = 522,000 \text{ 円}$
 上限である **500,000 円**まで補助金の申請が可能

例 2) アンダー 19 部門：申請 2 年度目・対象経費 85,500 円の場合
 $85,500 \text{ 円 (対象経費)} \times 100\% \text{ (補助率)} = 85,500 \text{ 円}$
 千円未満を切り捨てた **85,000 円**の補助金申請が可能

| | 1 年度目 [補助上限額 (率)] | 2 年度目 [補助上限額 (率)] | 3 年度目 [補助上限額 (率)] |
|------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ①地域づくり部門 | 50 万円 (対象経費の 90%) | 40 万円 (対象経費の 90%) | 30 万円 (対象経費の 90%) |
| ②アンダー19 部門 | 10 万円 (対象経費の 100%) | 10 万円 (対象経費の 100%) | 10 万円 (対象経費の 100%) |

*補助期間は単年度ですが、補助を継続することで次年度以降の事業の波及性、発展性等が見込まれるものや大きな成果が期待できる場合は、3 年度を限度に申請が可能です。(審査は年度ごと実施)

*事業の実績を踏まえて、課題、問題点を検証し、改めて計画をつくり、次年度以降の提案につなげてください。

□補助金の金額の変更について

補助金の金額は、提案書類提出後、原則変更することができませんので、ご注意ください。

また、決算時に対象経費の 90%が予算時の補助金額に満たない場合は決算時の対象経費の 90%までしか補助金を交付することができませんので、ご注意ください。

6 対象経費

補助金の対象となる経費は次のとおりですが、経費の妥当性や金額については、担当課との意見交換や審査の段階で調整する場合があります。

- ①報償費
- ②旅費
- ③需用費
- ④役務費
- ⑤委託費
- ⑥使用料及び賃借料
- ⑦備品購入費
- ⑧その他の経費

*市からの補助金交付決定通知以前に発生した費用は原則対象となりません。

□有償ボランティアの考え方（参考）

・有償ボランティア費（報償費）の計上にあたっては、公的資金を活用しての事業となること、また他の市民活動やボランティア活動との公平性等を考慮し、真に必要な経費であるかを精査してください。

[有償ボランティアの目安]

500 円／半日（4 時間程度） 1,000 円／1 日（8 時間程度）

□備品購入費の考え方（参考）

・備品購入費の計上にあたって、地域づくり部門は、1 品 1 万円以上 5 万円以下かつ補助金額に対して 2 割を上限とし、アンダー19 部門は、1 品 1 万円以上 2 万円以下かつ補助金額に対して 2 割を上限とします。なお、購入した備品は備品台帳を作成し、管理してください。

例 1) 地域づくり部門

500,000 円（補助金額）×20%（上限）=100,000 円

上限である 100,000 円まで備品購入費の計上が可能（1 品 50,000 円まで）

※1 品 40,000 円の備品を 2 点、30,000 円の備品を 1 点購入した場合、合計で 110,000 円となるので、このうち 100,000 円が対象経費、10,000 円を対象外経費となります。

例 2) アンダー19 部門

100,000 円（補助金額）×20%（上限）=20,000 円

上限である 20,000 円まで備品購入費の計上が可能（1 品 20,000 円まで）

□予算計上時の注意点

・団体構成員に支払う費用についてはどの費目においても対象外経費です。

*ただし、専門的な知識を有する方への依頼等を除く。

・対象経費の基準に当てはまっている費目であっても、予算書の対象経費内に計上されていないものは、決算時に対象外経費での計上となります。計上漏れがないかご確認のうえ、ご提出ください。

・採択は単年度事業に対してのものであるため、採択事業実施年度の翌年度以降の準備に要する経費については対象経費であっても計上できません。（繰越金等）

□対象となる経費の例示

| 費目 | | 例示 |
|----------|------------------------|---|
| 報償費 | | <p>◆外部講師、出演者への謝金（外部講師等への交通費は報償費で計上） *ただし、1人あたりの報償費の上限を5万円とする</p> <p>◆有償ボランティア費（主たる活動への団体構成員以外に対する謝金） *ただし、総事業費に占める割合が概ね3割を超えない範囲</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体構成員に対する謝金・菓子折り等（現金以外のもの） ・団体構成員でない場合であっても、団体内部の会議への参加に対する謝金 |
| 旅費 | | <p>◆事業実施にあたり直接的に要するバス、電車等の交通費 *ICカード等の使用等により費用の証明が困難な場合は、経路、移動先等が客観的にわかる資料を整えること</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体構成員に対する交通費、イベント等参加者の交通費 |
| 需用費 | 消耗品費 *購入価格が1万円未満のもの | <p>◆筆記用具、コピー用紙、種苗、環境衛生のための薬剤等</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者への花束等の品物 ・コンテスト等のトロフィー、メダル、記念品 |
| | 印刷製本費 | ◆PRポスター、パンフレット、プログラム、コピー、写真の現像等 |
| | 燃料費 | ◆事業実施にあたり直接的に要するガソリン等 |
| 役務費 | 通信運搬費 | <p>◆募集案内、チラシ、商品の受け取り等の送料</p> <p>◆会場までの資材等の配送に係る運搬費</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人、団体が所有している電話等の通信費・団体構成員のみの会議等に係る通信費 |
| | 手数料 | ◆振込手数料、クリーニング代 |
| | 保険料 | <p>◆事業実施にあたり必要な保険料（イベント保険等）</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震等の家屋に係る保険料 |
| 委託費 | | <p>◆事業実施にあたり、専門的な技術等（デザイン等）を要する業務を外部に委託する経費</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を全て外部に委託する等 |
| 使用料及び賃借料 | | <p>◆公民館等公共施設、会議室、イベント会場等使用料</p> <p>◆機材レンタル料</p> <p>◆事業実施のために借り上げた施設の賃借料</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人、団体に車両等を借りた場合の使用料 ・団体等が管理する施設等への使用料 ・団体事務所等、団体運営のための経常的な経費に当たるもの |
| 備品購入費 | | <p>◆事業実施にあたり必要不可欠なもので、長期的に当該事業において使用する物品</p> <p>※地域づくり部門は、1品1万円以上5万円以下かつ補助金額に対して2割を上限とし、アンダー19部門は、1品1万円以上2万円以下かつ補助金額に対して2割を上限とする</p> <p>※備品台帳を作成すること</p> <p>（認められない経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1品5万円を超える物品 |
| その他経費 | | ◆事業のために必要な経費で、市長が必要かつ適切と認める経費 |

※全経費共通で補助対象にならないのは下記のとおりです。

- ・公的資金を支出する事業として、社会通念上、適切と認められない経費
- ・当該事業に直接必要と判断しかねる経費
- ・市民団体で経常的に要する経費（事務所の光熱水費やスタッフ人件費等）

^^^-----

7 補助金以外の協力・サポート

市は、補助金の交付以外にも、相談や情報提供等、事業実施にあたり必要な社会資源の提供を積極的に行います。提案にあたっては、双方が提供できる社会資源について意見交換を行い、効果的に事業の実施ができるよう努めます。

□みんなで地域づくりセンターによるサポート

みんなで地域づくりセンターでは、普段、生活の中で市民のみなさんが感じる地域の課題やその解決方法、地域をよりよくする取組についてアイデアを出し合う場を設けています。

また事業提案に向けた申請書の書き方、資料作成のサポート等も行っていますので、ご活用ください。

コラボ四街道に向けた制度説明会・個別相談会：9月28日（木）、10月12日（木）、10月26日（木）
プレ・プレゼン（公開プレゼンテーション前の練習会）：1月下旬頃

みんなで地域づくりセンター（市文化センター内）

〒284-0001 四街道市大日 396

TEL：043-304-7065 FAX：043-424-8920 MAIL：info@minnade.org

火曜—金曜 9:00—17:00 土曜（第1・3） 9:00—17:00

^^^-----

8 応募手順・方法

①書類の提出（募集期間内）

次の書類を作成の上、政策推進課に提出してください。

- (1) みんなで地域づくり事業提案書（実施要綱様式第1号）
- (2) みんなで地域づくり事業計画書（実施要綱様式第2号）
- (3) みんなで地域づくり事業収支予算書（実施要綱様式第3号）
- (4) 提案団体概要書（実施要綱第4号）
- (5) 団体の規約、会則等
- (6) 団体名簿
- (7) 団体の活動内容がわかるもの（パンフレット等）

*募集期間内に提出された書類の内容や予算額等は、原則として、これより先の手順において団体都合で変更することはできません。この段階で事業の基礎は固めた状態で書類を提出してください。ただし、政策推進課から団体に書類の修正や再提出をお願いする場合があります。

②担当課との意見交換等

担当課との意見交換等を行い、事業を実施する上での課題等を共有します。

*意見交換期間中に政策推進課から担当課宛に意見照会を行い、その結果を各団体にお知らせします。各団体でも必要に応じて担当課と打ち合わせを行ってください。

③書類の最終提出

担当課との意見交換後、必要に応じて提案書類を修正した上で、再度政策推進課に提出してください。

*必ず①募集期間内に提出した後、②の手順を経て、③最終提出してください。

④書類の配布場所

- (1) 政策推進課
- (2) みんなで地域づくりセンター
- (3) 市ホームページ「コラボ四街道」で検索。

^^^-----
9 審査

提案された事業は、みんなで地域づくり推進委員会で書類及び公開プレゼンテーションにより審査を行います。

□審査基準

| 審査項目 | 審査の視点 |
|----------------------|--|
| 市民ニーズ・地域課題の認識・事業の必要性 | 市民や地域のニーズ、地域課題等を的確に捉えているか また本制度で事業を実施する必要があるか |
| 企画力・企画の適正性 | 地域課題の解決や地域づくりを効果的、効率的に進めていくための具体的かつ現実的な企画になっているか |
| 実現可能性・継続性 | 事業を実施する能力（専門知識、技術、人材等）があるか また今後、事業の継続性（資金調達等）が見込めるか |
| 発展性・波及性 | 事業の発展や地域に波及することが期待できるか また多様な市民等の参加・参画が見込めるか |
| 成果・費用対効果 | 事業を実施することにより期待できる成果は明確かつ妥当であるか またその成果に見合った妥当な経費の見積もりがされているか |

| 5点 | 4点 | 3点 | 2点 | 1点 |
|----------|-------|----------|----------|--------|
| とても評価できる | 評価できる | 基準（採択相当） | やや評価できない | 評価できない |

- ・各項目を5点満点で採点し、事業採択の適否を審査します。
- ・各委員が採点した平均点が15点に満たない場合は選考しないものとします。
- *審査基準等は、協議により変更される場合があります。

^^^-----
10 事業の実施から完了まで

①補助金の申請

審査結果をもとに、市長は採択事業を決定します。

採択された市民団体は、必要に応じて担当課と詳細な意見交換等を行います。

補助金の交付にあたっては、次の書類を作成の上、4月1日以降、政策推進課に提出してください。

- (1) みんなで地域づくり事業補助金交付申請書（補助金交付要綱様式第1号）
- (2) みんなで地域づくり事業計画書（実施要綱様式第2号）
- (3) みんなで地域づくり事業収支予算書（実施要綱様式第3号）
- (4) 提案団体概要書（実施要綱様式第4号）
- (5) 団体の規約、会則等
- (6) 団体名簿
- (7) その他申請にあたり必要となるもの

*ただし(2)～(7)は提案時から変更がない場合は省略可

*補助金の概算払いを希望する場合は、事前にご相談ください。

*団体名、代表者名、事業内容等について、ホームページ等で公開する場合があります。

②事業の実施

事業の実施は4月1日から可能ですが、市からの補助金交付決定通知以前に発生した費用は原則対象となりませんので、事業に係る経費の支出も、補助金交付決定通知以降に行うようにしてください。

事業を実施する上では、担当課と協力し、必要に応じて、協議、調整を行ってください。

また、チラシ等広報物の発行やSNSでの広報等を行う場合には、コラボ四街道採択事業である旨の表記をお願いします。

また、政策推進課及びみんなで地域づくりセンターで情報を共有し、事業のサポートを行いますので、お気軽にご相談ください。

③事業の変更等

事業内容に変更が生じる場合、軽微な変更を除いて、みんなで地域づくり事業補助金変更（中止・廃止）承認申請書（補助金交付要綱様式第3号）の提出が必要となります。

また天災、団体の都合などにより、事業の実施ができない場合なども同様に提出することとなりますので、ご相談ください。

[軽微な変更の例]

- ・ 事業内容の目的達成に支障のない範囲での消耗品等の購入による増減
 - ・ 予定開催日と同月内での日程変更（参加者がより見込める等）
 - ・ 団体構成員の変更 等
- *上記の例にあっても、事業内容、全体への影響などの総合的な判断により、軽微な変更と認められない場合もあるので、早めにご相談ください

*事業を大幅に変更する場合、補助金の一部または全部を返金いただく場合があります。

④事業の完了

事業が完了したときは、市長が定める期日までに次の書類を作成して、政策推進課に直接提出してください。

- (1) みんなで地域づくり事業補助金実績報告書（補助金交付要綱様式第4号）
- (2) 事業報告書（コラボ四街道まとめ）
- (3) 収支決算書
- (4) 経費の支出がわかる書類（領収書など）
- (5) 備品台帳（備品を購入した場合のみ提出）
- (6) 印刷物や任意書式の報告書など必要と認められる書類

* (2)、(3)、(5)、(6)の書類は、みんなで地域づくり推進委員会での資料として配布したり、市ホームページ上で公開する場合があります。（個人情報が入っている場合は、その部分を伏せた形で公表します。）

⑤補助金の確定

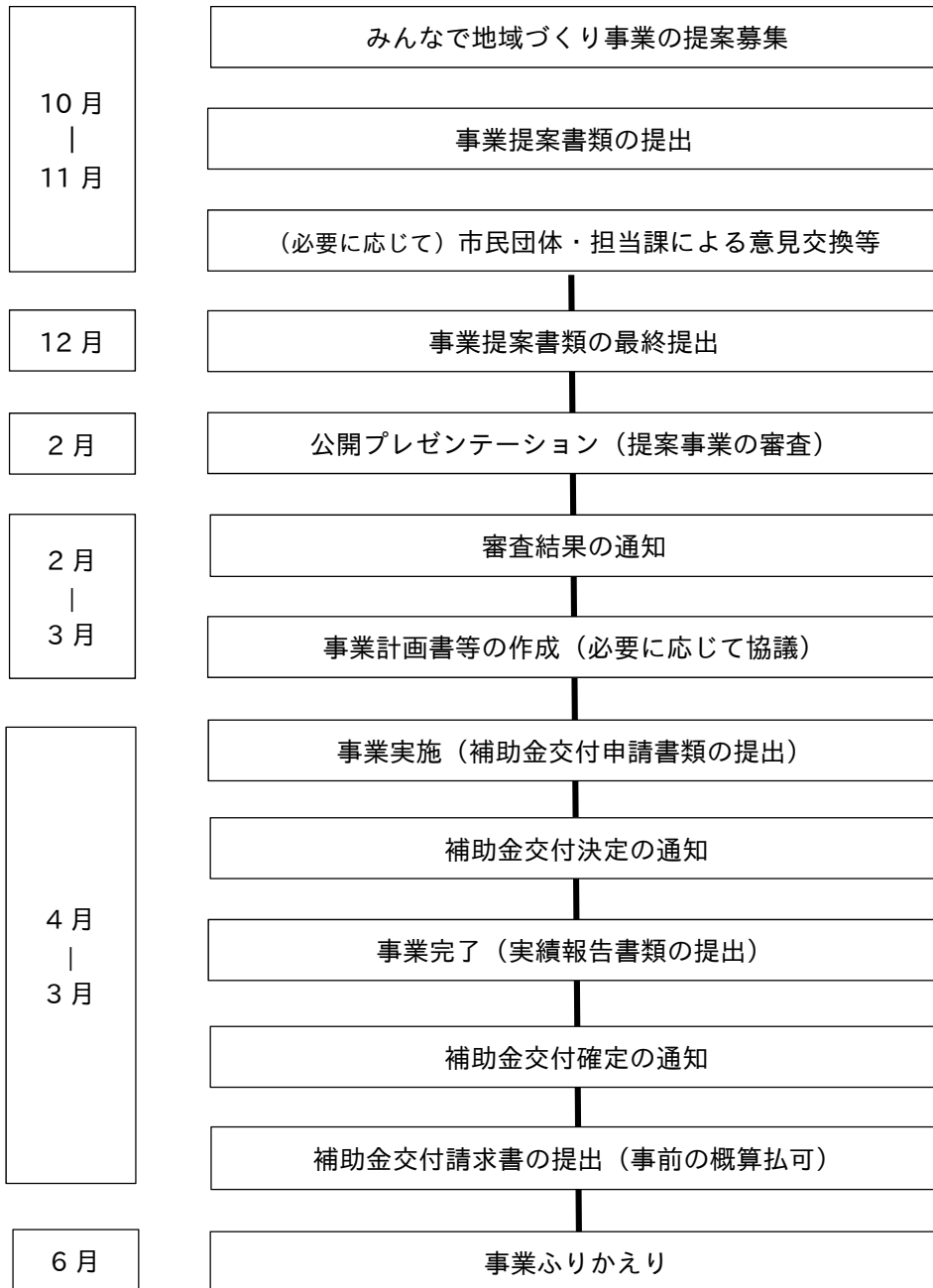
市は、上記書類を審査し、補助金の額を確定し、市民団体へ補助金交付確定の通知をします。
なお、審査の結果、補助金を減額する場合があります。

^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^

11 事業のふりかえり

市民団体は「コラボ四街道まとめ」を作成し、政策推進課に提出します。みんなで地域づくり推進委員会等から意見を聴くことで、次年度以降の事業に反映し、事業の質の向上を図っていきます。

^^^-----
12 事業の流れ



^^^-----
13 おわりに

みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）は、市民団体が、より良い地域づくりをめざして、地域にある課題の解決につながる事業を提案し、主体的に、または市と協力して事業を実施する制度です。事業終了後も継続することはもちろん、より充実した事業に発展させていくためにも連携や協力を絶えず行っていくことが大切です。

関連資料

[記載例]

四街道市長 ○○ ○○ 様

年 月 日

職名（代表、実行委員長等）も記載
例年、代表者の職名の記入漏れが多いため注意してください

名 称

提案団体 所在地

代表者 代表 ○○ ○○

事業名だけで事業内容、目的が伝わる名称に

みんなで地域づくり事業提案書

事業の概要を 100 字程度で記載

四街道市みんなで地域づくり事業提案制度実施要綱第 7 条の規定により、次のとおり提案します。

| | | | | |
|-----------|---|---------------|-----------|------------|
| ①・②・③ 年度目 | | | | |
| 事業名 | ……でイキイキ……活性化事業 | | | |
| 事業概要 | ……を対象に……を実施して、……広く……するための事業をするもの | | | |
| 事業分野 | | 保健・医療・福祉 | ○ | 社会教育 |
| | | まちづくり | | 観光 |
| | | 農村等振興 | | 文化・芸術・スポーツ |
| | | 環境 | | 災害救援 |
| | | 地域安全 | | 人権擁護・平和 |
| | | 国際協力 | | 男女共同参画 |
| | ◎ | 子どもの健全育成 | | 情報化社会 |
| | | 科学技術 | | 経済活動 |
| | | 職業能力開発・雇用機会拡充 | | 消費者保護 |
| | 市民活動支援 | | その他() | |
| 事業部門 | 地域づくり部門 | ○ | アンダー19 部門 | |
| 市の担当課 | ○○○課 △△△課 | | | |
| 添付書類 | (1) みんなで地域づくり事業計画書(様式第 2 号) (2) みんなで地域づくり事業収支計算書(様式第 3 号) (3) 提案団体概要書(様式第 4 号) 連携や協力を得たい市の担当課を記載 (4) 団体の規約、会則等の写し (5) 団体の構成員の名簿 (6) 団体の活動内容がわかるもの(パンフレット等) (7) その他() | | | |

備考

- 1 「事業概要」は、簡潔に記載してください。
- 2 「事業分野」は、該当する分野に○印を付けるものとし、該当する分野が複数ある場合には、主なものに◎印を付け、その他のものに○印を付けてください。
- 3 「事業部門」は、いずれかの部門に○印を付けてください。

[記載例]

みんなで地域づくり事業計画書

| | | |
|---|--|--|
| 事業名 | 事業を行うきっかけや課題認識、背景を記載 またどのように市民の役に立つか、どのような地域を目指すかを記載 | |
| 目的・必要性 | 以前より、西街道市では……という課題があり、……で対応している現状がありました。 そのような中で……を実施することで……の充実が図れ、市民にとって……な地域となります。 当団体がこれまで実施してきた……のノウハウを生かし、……することでこのような地域とすることが本事業における目的です。 | |
| 内容 | 1. ……の開催 [内容]……を対象に、……を講師に……を開催 [会場]……公民館 2. ……の実施 [内容]……を対象に、……を制作する……を実施 [会場]……センター | |
| スケジュール | 時期 | 具体的な取組 |
| | 5月 | 広報活動（チラシ・ポスター配布）、参加者募集 |
| | 7月 | リハーサル |
| | 8月 | イベント、講座などの本番の日程だけでなく、主要な事前準備や広報のタイミングなど事業全体の流れがわかるよう記載 |
| 担当課 | (担当課) ○○○課、△△△課 | |
| | (役割) [○○○課] ……指導員の紹介 [△△△課] ……に関するアドバイス 市政だよりへのイベント情報掲載 | |
| 他団体との連携 | ……大学（講師の紹介） NPO 法人……（技術的支援） ……の会（広報協力） | |
| 期待される成果 | (1) ……の開催により多くの……に関心のある市民が集まることで、……意識を向上させるとともに、……他地域へ広がっていくことが期待できる 参加者数：○○人 (2) ……の実施により得られたアンケート結果を踏まえて、……をまとめ、今後の……活動に活かしていくことが期待できる アンケートサンプル数：○○件 | |
| 事業を実施することで得られる市民（地域）への効果や波及効果などについて数値を交えて記載 | | |

[記載例]

みんなで地域づくり事業収支予算書

| | |
|-----|-------|
| 事業名 | 〇〇〇事業 |
|-----|-------|

【収入】

対象経費（B）の補助割合（対象部門毎の上限）
 以内で千円未満切り捨てになっているか確認

(単位：円)

| 項目 | 予算額 | 具体的な内容・積算 |
|------|---------|--------------------------|
| 市補助金 | 300,000 | |
| 自己資金 | 55,000 | 会費 30,000円 講座参加費 25,000円 |
| 寄付金 | 20,000 | 一口 5,000円×4件 |
| | | 事業に関する収入を漏れなく記載 |
| 収入合計 | 375,000 | A(=D) |

【支出】

(単位：円)

| 項目 | 予算額 | 具体的な内容・積算 |
|-------|--------------|---|
| 対象経費 | 報償費 | 80,000 講師謝礼金 50,000円 有償ボランティア費 30,000円 (1,000円×10人×3回) |
| | 消耗品費 | 45,000 コピー用紙 10,000円 (1,000円×10個) 文具類 (筆記用具、マジック等) 15,000円 インク 20,000円 (4,000円×5個) |
| | 印刷製本費 | 80,000 イベントチラシ 50,000円 (50円×10,000枚) 講座チラシ 30,000円 (50円×6,000枚) |
| | 通信運搬費 | 40,000 イベントチラシ郵送代 40,000円 (80円×5,000円) |
| | 使用料及び 賃借料 | 90,000 イベント会場使用料 60,000円 (30,000円×2日) テント賃借料 30,000円 (15,000円×2日) |
| 小計 | 335,000 | B 積算根拠 (単価、数量) を記載 |
| 対象外経費 | 報償費 | 10,000 イベント協力者菓子折り |
| | 食糧費 | 20,000 イベント打合せ食糧費 |
| | 通信運搬費 | 10,000 団体電話使用料 |
| 小計 | 40,000 | C 収入合計欄 (A) と等しくなるよう記載 |
| 支出合計 | 375,000 | D(B+C) |

備考

- 1 見積書等、積算の根拠となる書類がある場合は、当該書類を添付してください。
- 2 提案時における事業費及び市補助金額は、担当課との意見交換等を経て変更される場合があります。

[記載例]

提案団体概要書

| | | | |
|-------------|--|--|---|
| 団 体 名 | | | |
| 所 在 地 等 | (〒 -) | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 事務所がある場合は所在地、 個人宅の場合は住所を記載 </div> | |
| | 電 話 | | |
| | ファクシミリ | | |
| | 電 子 メ ー ル | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> HP や Facebook などがある場合は記載 </div> | |
| 代 表 者 | ホ ー ム ペ ー ジ | | |
| | 役 職 | | |
| | ふ り が な 氏 名 | | |
| 連 絡 責 任 者 | 住 所 | (〒 -) | |
| | ふ り が な 氏 名 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 郵送の送付先、連絡窓口の責任者を記載 (代表者の場合は「同上」と記載) </div> | |
| | 住 所 | (〒 -) | |
| | 電 話 | | |
| 設 立 年 | 年 | 会 費 | 円 |
| 構 成 員 数 | 人(うち四街道市民 人) | | |
| 主 な 活 動 地 域 | (市内) | | |
| | (市外) | | |
| 活 動 目 的 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 団体の活動(事業)目的を記載 (本制度活用のために立ち上げた場合は、その目的を記載) </div> | | |
| 主 な 活 動 実 績 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 設立から現在までの団体の主な活動実績について記載 (当市の補助金、助成金等の交付実績等を含む) </div> | | |
| そ の 他 | (PR等) | <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 団体活動の補足事項、PR事項などあれば記載 </div> | |

□事業分野一覧

| | | | |
|--|-----------------------|--|-------------------------|
| 1 | 保健・医療・福祉の増進 | 2 | 社会教育の推進 |
| 高齢者支援、障害者支援、生活支援、点字・手話教育活動、公衆衛生の啓発、薬品の情報提供 | | 生涯学習活動、読み書き教室、不登校児や引きこもり青少年の学びの場を提供する活動 | |
| 3 | まちづくりの推進 | 4 | 観光の振興 |
| まちおこし、地域活性化、地域コミュニティの活性化、地域情報誌の発行、バリアフリーの推進 | | 地域ブランドづくり、観光商品開発 | |
| 5 | 農村等の振興 | 6 | 学術・文化・芸術・スポーツの振興 |
| 過疎防止活動、就農支援、地産地消 | | 伝統文化の振興・継承、芸術家への支援、演劇鑑賞会、地域楽団、地域劇団、スポーツ大会やスポーツ教室 | |
| 7 | 環境の保全 | 8 | 災害救援活動 |
| 野生動物や野鳥の保護、森林保全、環境セミナーなど自然・環境教育活動、公害防止活動、ペット保護 | | 災害の救援活動、被災者の生活支援、救援ネットワークづくり、災害予防の普及活動 | |
| 9 | 地域安全活動 | 10 | 人権擁護・平和の推進 |
| 防犯パトロール、犯罪・事故の予防、交通安全活動、交通マナー向上活動、登下校時の見守り活動 | | 外国人、障害者、女性、子どもなどの人権啓発、核兵器廃絶などの平和推進活動、いじめ防止活動 | |
| 11 | 国際協力活動 | 12 | 男女共同参画の促進 |
| 留学生の支援活動、帰国者の援助、国際交流活動、海外との文化交流 | | 女性の自立支援、セクハラ防止活動、雇用の充実を図る活動、女性が安心して働ける環境整備を促す活動 | |
| 13 | 子どもの健全育成 | 14 | 情報化社会の発展 |
| 子育て支援、子ども会活動、児童保育、学童保育、非行防止活動、いじめ相談、児童相談 | | パソコン教室などインターネットを利用した学習システムの普及活動、情報通信ネットワークづくり | |
| 15 | 科学技術の振興 | 16 | 経済活動の活性化 |
| 科学技術とまちづくりなどの異分野をつなぐ活動、科学教育教室など科学や技術への関心を高める活動 | | 地域産業の振興など、地域経済活性化の促進を図る活動、起業支援、コミュニティビジネス支援 | |
| 17 | 職業能力開発・雇用機会の拡充 | 18 | 消費者保護活動 |
| 就労情報の提供・就労支援、雇用創出を図る活動、高齢者への雇用支援、障害者への職業訓練活動 | | 商品知識の普及を図る活動、詐欺被害にあわないための消費者教育活動、消費者相談 | |
| 19 | 市民活動支援 | 20 | その他 |
| 上記の活動を行う団体に対する助言や支援、団体間の連絡・交流を図る活動、中間支援活動 | | その他、地域づくりに関する活動 | |

[Q & A]

Q 構成員は市内在住でなければいけませんか。

A 構成員は市外在住でも構いませんが、団体の主な活動場所が市内であることが必要です。また、本制度に申請する事業に関しては市内で実施する必要があります。団体が、本制度を活用した事業とは別の事業において市外での活動を行うことは問題ありません。

Q アンダー19 部門と地域づくり部門の2部門でそれぞれ事業を提案することは可能ですか。

A アンダー19 部門と地域づくり部門は同時に提案することはできません。

Q 担当課は必ず設定しなければいけませんか。

A 必須ではありませんが、連携できる担当課があれば設定してください。

Q 国、県及びそれらの外郭団体等から助成を受けている事業は本制度の対象にならないということですが、既に助成を受けている団体で、現在助成を受けている事業とは異なる事業での申請は可能ですか。

A 団体として他の制度で助成を受けていたとしても、本制度に申請する事業と異なっていれば本制度の対象となります。市の他の制度で助成を受けている場合も同様です。不安のある場合は、ご相談ください。

Q 過去に事業を採択されたことのある団体が、別の事業で新たに申請することは可能ですか。

A 過去に採択された事業と異なる地域課題解決のための事業である場合には、新規事業として申請することが可能です。不安のある場合は、ご相談ください。

Q 複数年度に渡る事業で補助金を申請したい場合は、年度ごとに申請する必要がありますか。

A 同じ事業では、最大で3年度採択されるまで申請が可能ですが、申請の手続き、審査、補助金の交付は年度ごとに行います。また、過去に採択されたことのある事業でも、次の年度の申請時に必ずしも採択になるとは限りません。事業の実績等を踏まえ、課題、問題点を検証し、改めて計画をつくり、次年度以降の提案につなげてください。

Q 1年度目、もしくは2年度目まで事業が採択され、本制度を活用して活動を行った後、数年後に同様の事業を再度提案することは可能ですか。

A 可能です。以前提案したものと同様の事業内容である場合は、年度が引き継がれ、補助金額は次の年度のもものが適用されます。例えば、1年度のみ本制度の補助金を活用しての活動を行い、数年間自主財源で活動を行った後に同様の事業で申請を行う場合は、補助金の上限額は2年度目のものが適用されます。

コラボ四街道ガイドブック 2024

四街道市経営企画部政策推進課

みんなで地域づくり係

TEL 043-379-7553 / FAX 043-424-8920